

Sourcefire/FirePOWER アプライアンスのトラブルシューティング ファイルの生成手順

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[解決します Webインターフェイスでファイルを生成して下さい](#)

[トラブルシューティング ファイルのダウンロード](#)

[代替世代別方式](#)

[解決します CLI でファイルを生成して下さい](#)

[防御センターおよび Series-2 デバイス](#)

[FirePOWER および仮想デバイス](#)

[トラブルシューティング ファイルのコピー](#)

[防御センターおよび Series-2 デバイス](#)

[FirePOWER および仮想デバイス](#)

概要

この資料に Sourcefire/FirePOWER アプライアンスでトラブルシューティング ファイルを生成する方法を記述されています。トラブルシューティング ファイルには、一連のログ メッセージ、構成データ、およびコマンド出力が含まれています。Sourcefire/FirePOWER システムのステータスを判別することを使用します。Sourcefire/FirePOWER アプライアンスからのトラブルシューティング ファイルを送信するように Cisco サポート エンジニアが要求すれば、この資料で提供される手順を使用できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- 防御センター/SireSIGHT/Firepower Management Center (FMC) のような Sourcefire 管理アプライアンス、
- FirePOWER デバイス モデル (Series-3)、3D デバイス モデル (Series-2)、およびボックス管理からの付いている仮想デバイス/ASA FirePOWER モジュールのような Sourcefire 管理対象装置。

注: 管理アプライアンス自体を、または管理対象装置のためのトラブルシューティング ファイル生成するために防御センターが管理センターを使用できます。FirePOWER デバイス (Series-3) モデルは 7000 シリーズ、7100 シリーズおよび 8000 シリーズ 管理対象装置が

含まれています。 Series-2 管理対象装置モデルは FirePOWER サービスの 3D500、3D1000、3D2000、3D2100、3D2500、3D3500、3D4500、3D6500、3D9900 および ASA が含まれています。

使用するコンポーネント







このこの文書に記載されている情報はソフトウェア バージョン 5.0 またはそれ以降を実行する Sourcefire /FirePOWER 機器に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

解決します Webインターフェイスでファイルを生成して下さい

トラブルシューティング ファイルを生成するには、次の手順を実行します。

- バージョン 5.x.x では、**健康 > 管理機器 Webインターフェイスのヘルス モニタ**にヘルス モニタ ページに達するためにナビゲートして下さい。
バージョン 6.x.x では、**システム > 健康 > 管理機器 Webインターフェイスのモニタ**にヘルス モニタ ページに達するためにナビゲートして下さい。
- アプライアンスを拡張するために特定のステータスのアプライアンスを、クリックします行の端に矢印をリストし、表示して下さい:

	Status	Count	
	Error	0	
	Critical	1	▼
	Warning	0	
	Recovered	0	
	Normal	1	▶
	Disabled	1	▶

ヒント：ステータス水準点のための行の端に矢印がより低い表に、そのステータスのためのアプライアンス リスト現われれば。矢印が権限を指す場合、アプライアンス リストは非表示です。

- アプライアンス リストのアプライアンス カラムでは、詳細を表示したいと思うアプライアンスの名前をクリックして下さい。ヘルス モニタ アプライアンス ページは提示されます。
- 『Generate』 をクリック しま**ファイルのトラブルシューティング**。オプション ポップアップ ウィンドウを解決することは現われます。
- 可能性のあるデータのすべてのレポートをトラブルシューティング生成するために**すべての**

Data チェックボックスをチェックするかまたはレポートをカスタマイズするために個々のチェックボックスをチェックして下さい:

Troubleshooting Options

Please select the data to include:

- All Data
 - Snort Performance and Configuration
 - Hardware Performance and Logs
 - System Configuration, Policy, and Logs
 - Detection Configuration, Policy, and Logs
 - Interface and Network Related Data
 - Discovery, Awareness, VDB Data, and Logs
 - Upgrade Data and Logs
 - All Database Data
 - All Log Data
 - Network Map Information

Note: This may take several minutes.

- 『Generate』 をクリック すれば **管理センターはトラブルシューティング ファイルを生成** します。

ヒント : バージョン 5.x.x では、タスク待ち行列のファイル生成プロセスを監視するために、**システム > モニタリング > タスク ステータス** にナビゲートして下さい。バージョン 6.x.x では、タスク ステータスのファイル生成プロセスを監視するために、**メッセージ センター アイコン** に (その間オプションはシステム展開し、) > **タスク** ナビゲートして下さい。

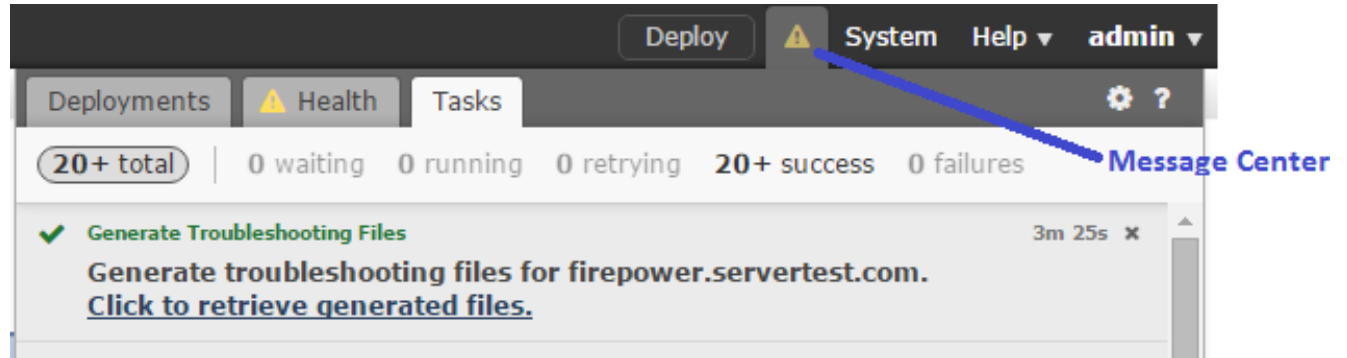
トラブルシューティング ファイルのダウンロード

生成されるのコピーをダウンロードするためにこれらのステップを解決しますファイルを完了して下さい:

- バージョン 5.x.x では、**管理機器 Webインターフェイスのシステム > モニタリング > タスク ステータス** に Status ページ タスクに達するためにナビゲートして下さい。
バージョン 6.x.x では、**メッセージ センター アイコン** に (その間オプションはシステム展開し、) > **管理機器 Webインターフェイスのタスク Status ページ** タスクに達するためにナビゲートして下さい。
- アプライアンスが**完了される**にトラブルシューティング ファイルおよびタスク ステータス 変更を生成した後、生成したトラブルシューティング ファイルに対応するタスクを見つけ して下さい。
- 生成されるファイル** リンクを取得し、ファイルをダウンロードするためにブラウザ プロンプトに従うように**クリック**をクリックして下さい。

ジョン

6.x.x



バージョン 5.x.x

Jobs

Task Description	Message
Generate troubleshooting files jobs for 0 Running 0 Waiting 1 Completed 0 Retrying 0 Failed	Generate troubleshooting files for Click to retrieve generated files.
Generate Troubleshooting Files	

4. 注: ファイルは .tar.gz 単一ファイルのデスクトップにダウンロードされます。

代替世代別方式

前のセクションに説明があり、管理アプライアンス Web インターフェイスにアクセスすることができないまたは管理アプライアンスと管理対象装置間に接続上の問題があれば世代別方式を使用するように試みれば、トラブルシューティング ファイルを生成できなければ。この場合、トラブルシューティング ファイルを生成するためにアプライアンスの CLI を使用できます。

解決します CLI でファイルを生成して下さい

防御センターおよび Series-2 デバイス

トラブルシューティング ファイルを生成するために防御センター、管理センターおよび Series-2 管理対象装置でこのコマンドを入力して下さい:

```
admin@3DSystem:~$ sudo sf_troubleshoot.pl
```

```
Starting /usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl...
Please, be patient. This may take several minutes.
Troubleshooting information successfully created at /var/common/xxxxxx.tar.gz
```

FirePOWER および仮想デバイス

トラブルシューティング ファイルを生成するために FirePOWER デバイス/モジュールおよび管

理対象装置のこのコマンドを入力して下さい:

```
> system generate-troubleshoot all
Starting /usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl... Please, be patient. This may take several
minutes. The troubleshoot option code specified is ALL. Troubleshooting information successfully
created at /var/common/xxxxxx.tar.gz
```

トラブルシューティング ファイルのコピー

防御センターおよび Series-2 デバイス

トラブルシューティング ファイルをコピーするために防御センター、管理センターおよび Series-2 管理対象装置でこのコマンドを入力して下さい:

```
admin@3DSystem:~$ sudo scp troubleshoot_file_name username@destination_host:
destination_folder
```

FirePOWER および仮想デバイス

トラブルシューティング ファイルをコピーするために FirePOWER デバイスおよび管理対象装置のこのコマンドを入力して下さい:

```
> system file secure-copy hostname username destination_folder troubleshoot_file
```

注: この例では、**ホスト名**はターゲット リモートホストの名前か IP アドレスを示します、**ユーザ名**はリモートホストのユーザの名前を規定します、**destination_folder** はリモートホストの宛先パスを規定し、**troubleshoot_file** ローカルを解決します転送のためのファイルを規定します。